

2014年度昭和大学英語

解答

- | | | |
|---|---|--|
| <p>1</p> <p>(1) B
(2) A
(3) C
(4) E
(5) D</p> <p>2</p> <p>(1) C
(2) E
(3) A
(4) A
(5) B
(6) A
(7) E</p> | <p>(8) B
(9) C
(10) E
(11) E
(12) E
(13) A
(14) D
(15) B</p> <p>3</p> <p>(1)
【あ】 1-F 2-C
【い】 3-E 4-D
【う】 5-A 6-C
【え】 7-B 8-D</p> | <p>【お】 9-D 10-A
(2) paternalism</p> <p>4</p> <p>(1) E
(2) C
(3) B
(4) D
(5) A
(6) B
(7) 全訳下線部参照
(8) B
(9) E</p> |
|---|---|--|

1

(1) B

- A. con-tra-ry [k'ɒntrəri | k'ɒntrəri] 反対の
 B. tu-ition [t(j)uɪʃən | tju-] 授業, 教授
 C. imi-tate [ɪmɪtət̪] 見習う
 D. reg-is-ter [rɛdʒɪstə] 登録
 E. sta-di-um [stɛɪdiəm] スタジアム

tuition が第2音節に, 他の選択肢は第1音節にアクセントがある。

(2) A

- A. escalator [ɛskələt̪ə] エスカレーター
 B. engineering [ɛndʒənɪ(ə)rɪŋ] 工学
 C. European [j`u(ə)rəpiən]

D. independent [ɪndɪpɛndənt] 独立した

E. situation [sɪtu'eɪʃən]

escalator が第 1 音節に、他の選択肢は第 3 音節にアクセントがある。

(3) C

A. agriculture [ˈægrɪkəl'tʃə | -tʃə] 農業

B. ceremony [sɛrəməʊni | -məni] 儀式

C. appreciate [əprɪ'ʃi:ɪt] 感謝する

D. comfortably [-təbli] 快適に

F. literature [lɪtərə'tʃʊə] 文学

appreciate が第 2 音節に、他の選択肢は第 1 音節にアクセントがある。

(4) E

A. convenience [kənvi:njəns] 便利, 好都合 [ɪ]

B. meter [mɪ:tə | -tə] メートル [ɪ]

C. recent [rɪsnt] 最近の [ɪ]

D. species [spɪ:ʃi:z] 種 [ɪ]

E. serious [sɪ(ə)riəs] まじめな [ɪ(ə)]

serious が異なる。

(5) D

A. arise [əraɪz] 起こる, 発生する [z]

B. compromise [kəmpraɪz | k'ɒm-] 妥協 [z]

C. enterprise [ɛntəpraɪz] 企業, 事業 [z]

D. precise [praɪsɪs] 正確な, 精密な [s]

E. otherwise ['ʌðəwaɪz | 'ʌðə-] 他の状態に [z]

precise が異なる。

2

(1) C

「私は図書館の前で知らない人に話しかけられた」 speak to が受身になっている。最後に by a stranger 「知らない人によって」を付け加えると was spoken to by~となる。

(2) E

「私達はたいてい毎週土曜日に子供たちが夜更かしをさせている」使役動詞“let+O+動詞の原形”は、相手の意思どおりにすることを許すという意味である。○stay up late「遅くまで起きている」

(3) A

「週のどの曜日にあなたはボランティアの仕事をする時間がありますか」○available「大丈夫、空いている」という意味である。手が空いているかどうかを聞いている。○convenient「便利な」、○favorable「好ましい、好意的な」、○timely「ちょうど間に合った」、○suitable「適した、都合のよい」

(4) A

「ジェーンは結婚して3人の子供がいる」be marriedは結婚している状態を表す。結婚相手を示さない場合は I am married. 「私は結婚している」となり、相手を示す場合は be married to 人「～と結婚している」になる。with three children「3人子供がいる」という意味である。

(5) B

「我々はチームワークについてよく聞いているが、何がチームを機能させるのですか」workが動詞であると考え、使役動詞 make を考える。“make +O+動詞の原形”「Oを～させる」という意味である。

(6) A

「あなたの車を明日直しますが、いいですか」「今日にしてもらいたいのですが」仮定法過去形である。S would rather (that)S'+過去形「S'が～してもらいたいのだが(とSは思っている)」遠まわしに願望を表わしている。例文 I would rather she went there. 「彼女がむしろそこへ行ってくれるといいのだが」

(7) E

「デーブは仕事を失い金が不足しているので、彼がしたのは自分のアパートを売ることだった」what he did was to do「彼がしたことは～することだった」の to が省略されている。○short of money「金が不足する」、○flat「アパート」

(8) B

「海底に着くことはとても大変なので、ほとんどは偵察用に無人の乗り物を送り出すとい

う手段に頼らなければならない」 **resort to** 名詞「(好ましくない手段) に訴える, に頼る」という意味である。今の場合, 名詞ところを **sending** にして用いる。例文 **You must never resort to violence.** 「暴力に決して訴えてはいけない」 ○**for the most part** 「ほとんどは」, ○**scout** 「偵察機」

(9) C

「約 580 万人のアメリカ人は, 身体からのニーズに合う十分な血液をもはや心臓がポンプで送り出せないときに起こる疾患である心不全をもっている」 **heart failure** 「心不全」の言い換えになるようなもの **a condition** 「体調, 状態」をもってくるとよい。○**arise after** 「~の後に起こる」

(10) E

「タム山塊は数十の別々の火山であろうと当初考えられていたが, たった1つの火山だとわかった。しかしそれは本当に大きい。ニューメキシコ州のサイズである」 **dozens of individual volcanoes** に対して **just one volcano** となる。○**Tamu Massif**「タム山塊」, ○**turn out to be** 「結局~であるとわかる」

(11) E

「クリスマスは資本主義に利用されている。そうは言ってもそれは今でも宗教的なお祭である」意味を考えると, **That said** 「そうは言っても」が適切である。○**exploit** 「開発する, 搾取する」, ○**that is (to say)** 「すなわち」, ○**simply put** 「簡単に言うと」

(12) E

「40 億年前, 原始スープ中で何かが動き始めた。いくつかの単純な化学物質が一緒になり生物を作り出した。自己複製能力がある最初の分子が現れた」自己複製するという意味を選ぶ。選択肢の **replicate** 「複製する」と **duplicate** 「複写する」が似ているが, 細胞を複製する場合は **replicate the cell** というように表現される。○**the primordial soup** 「原始スープ」, ○**stir** 「動き出す」, ○**molecule** 「分子」

(13) A

「インターネットで安全に買い物ができるという事実は素数, つまりその数自体と1でしか割れない数のおかげである」意味を考えていくと, “その数自体”と“1”によって割り切れるとならなければならない。○**prime numbers** 「素数」, ○**digit** 「数, 桁」, ○**divide** 「割り算をする, 割り切れる」

(14) D (15) B

「ウィリアムオッカムはフランシスコ修道会の修道士であり、イギリスの論理学者であり思考節約（儉約）の原理という原則で最も有名である。それは様々な形式で述べられるがもっとも多いのは『ふたつの等しい理論または説明においては、他のすべてのことが等しければ、より簡単なほうが好ましい』という文句を利用したものである。このことの別の言い方は、医師はそういうのが好きであるが『もし蹄の音が聞こえたら、シマウマではなく馬を思い出せ』というものである」(14)all other things being equal は分詞講文であることを見抜くところがポイントである。本来は If all other things are equal である。(15)は「述べる」という意味がある put が正解である。○Franciscan friar 「フランシスコ修道会の修道士」、○hoof beat 「ひづめの音」

3

和訳

[1] 真実を述べることは、特に不都合な結果と関連しているとき、臨床行為ではとても難しいことがあります。

[2] 過去において、父権主義が医師と患者の関係を特徴付けていた頃、自己裁量が患者に利益を与えるかもしれないと感じるときには、真実を知らせることを控える医師もいた。治療の進歩と同じく、患者の自己決定および裁量権が増えてきて、世界中で真実を述べることへの考え方、行為や方策においてかなりの変化があった。法律に関する職業倫理規約が進歩し、多くの国々において公開することやインフォームドコンセントに対する要求が含まれるようになった。さらに、患者はますます診断や治療の意思決定過程に関わるようになっていく。

[3] 真実を伝えることに対する考え方は、文化や個人個人の間で異なることがあります。望みを消して、孤立、絶望または自殺につながるかもしれない不必要な精神的苦痛を引き起こすことを懸念して、真実を完全にまたは部分的に控える（言わない）ことは、中国や日本のような国々では珍しいことではない。これらの背景には強い父権主義的で家族中心的な伝統があるので、医師は最初に家族の人たちに患者の死に至る診断を公開して、患者にその知らせを打ち明けるべきかどうかを家族に尋ねるかもしれない。

[4] 悪い知らせの告知のされ方は、患者とその親族だけでなく健康の専門家自身にもまた深い影響を与える。トレーニングが不十分であると、多くの医師はそのプロセスにストレスを感じ、そのような情報を与えるときには、悲しみ、罪悪感、共鳴そしてフラストレーションという感情をコントロールするのが大変である。その患者がそのコミュニケーションの中で感じることは、医師に対する患者の考え方にとっても影響を与えるだろう。

[5] 患者に悪い情報を知らせるか、いつ、どのように知らせるのかを知ることは健康の専門

家にとって必要不可欠な技術である。このタスクにおいて助けになるいくつかのガイドラインとアドバイスがある。例えば、アメリカの腫瘍学者には、その複雑なプロセスはSPIKESという頭文字で要点を述べられている。SはSetting up interview (インタビューの設定), Pはassessing patient's Perception (患者の認識の査定), Iはobtaining patient's invitation (患者の求めを得ること), Kはgiving Knowledge and information (知識と情報の提供), Eはaddressing the patient's Emotions (患者の感情への取り組み), そしてSはstrategy and Summary (計画と要約) である。それに加えて、真実を伝えるということは、もはや情報を提供している医師の一方通行的な行為ではない。患者は個人的な状況で、感情を表し、質問することが許される必要がある。患者の自己決定権、精神的な満足、文化的背景、宗教的信念、そして社会的支援は、すべて考慮されなければならない。真実を伝えるということはまた、すべての医療に広がっているその本来備わっている不確実性ばかりでなく、医師がわからないことに対して誠実であることをも含む。真実を語ることは生物医学的な事実を言い渡す以上のことである。それはまた人間らしさを必要としているのである。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- challenging 「深く考えさせられる, やりがいのある」
- adverse 「反対の, 不運な」
- outcome 「結果, 成果」
- practice 「行為」
- informed consent 「告知に基づく同意」
- diagnosis 「診断」
- truthfulness 「真実性」
- wholly 「まったく, 完全に」
- uncommon 「珍しい, まれな」
- depression 「絶望」
- setting 「背景, 環境」
- suicide 「自殺行為」
- break the news 「情報を知らせる, 公表する」
- manner 「方法」
- inadequate 「不十分な」
- frustration 「落胆, 失望, フラストレーション」
- enormously 「非常に」
- outline 「概要を述べる」
- acronym 「頭文字」
- address 「話しかける, 処理する」
- strategy 「計画, 戦略」

- perception 「感じ方, 認識」
- summary 「要約」
- well-being 「幸福な状態, 健康的な状態」
- inherent 「本来備わっている」
- 第5段落第8文 **Telling the truth goes beyond delivering biomedical facts.** 「実を語ることは, 生物医学的事実を言い渡すことだけでない」
- deliver 「言い渡す」
- go beyond 「～に勝る, ～をしのぐ, ～以上のことをする」
- entail 「必要とする」
- humanity 「人間性, 人間らしさ」

(1) 【あ】 1-F 2-C

正解は **some doctors withheld the truth when they perceived that** となる。「～と感じたとき, その真実を差し控える医師もいる」という意味であるが, 同じ文の後半には「自分の判断で決めることが, 患者に利益を与えるかもしれない」と続いていることから考える。
○withhold 「抑える, 差し控える」, ○perceive 「～だと気が付く」

【い】 3-F 4-C

正解は **of extinguishing hope and causing unwanted emotional distress that** となる。直前の **the fear** 「懸念, 心配」の内容を説明する。「望みを消して, 不必要な精神的苦痛を引き起こす」と作ることができる。最後の **that** は関係代名詞である。先行詞は **distress** である。**distress that might lead to isolation, depression, or even suicide** 「孤立, 絶望または自殺につながるかもしれない苦悩」という意味になる。

【う】 5-F 6-C

正解は **can have a profound effect not only on** となる。まず **not only ~ patients and their relatives but also on health professionals themselves** 「患者とその親族だけでなく健康の専門家自身にもまた」が思いつく。**The manner** 「その方法」が主語とだと考えれば, **have an effect on** 「～に影響する」が述語動詞部分になる。

【え】 7-B 8-D

正解は **and how to break bad news to patients is an essential skill** となる。まず **whether, when,**ときているので疑問詞 **how** の可能性を考える。**to break bad news** 「悪い知らせを入れること」をまとめりとして考える。また文の最初の **knowing** が主語になっているとすれば **is an essential skill** 「必要不可欠なスキルである」とつながる。

【お】 9-D 10-A

正解は includes being honest about what physicians do not know となる。まず Truth-telling includes 「真実を話すことは～を含んでいる」となる。What は関係代名詞 (= the thing which) で名詞節を導くと考える。直後の as well as the inherent uncertainty 「その本来備わっている不確実性と同じく～」につながるように考えると be honest about 「～について誠実であること」となることが予測できる。about につなげて what physicians do not know 「医師が知らないこと」とする。

(2) paternalism

第2段落に注目する。第2文 “patients’ autonomy 「患者の自己決定権」および裁量権が増えてきて世界中で真実を述べることへの考え方、行為や方策においてかなりの変化があった” と書かれているが、第1文では、“過去において、paternalism 「父権主義」が医師と患者の関係を特徴付けていた時、自己裁量が患者に利益を与えるかもしれないと感じときには、真実を知らせることを控える医師もいた” と書かれていて、対立していることがわかる。

4

和訳

[1]ペイフォアパフォーマンス（業績に応じて報酬を与えること）は、強い直感的な魅力をもっている。常識と厳正な研究から、例えば血管形成術とか予防接種にもっと多くお金を払うことは、それらの治療をもっともたらす。つまり治療数の多さだけでなく、より良い治療に対して医師にお金を支払うことは、当たり前のように思える。しかしペイフォアパフォーマンスボーナスについての厳正な研究によると、健康上の利益はまったく見つからなかったが、予想もしていなかった害がいくつか発見されてきた。医学的証拠をもう一度検査する国際グループ、コクラン共同計画によれば、ペイフォアパフォーマンスの研究の徹底的な分析では、「金銭的なインセンティブ（報酬）が患者への結果を改善することがありうるという証拠はない」と明らかにした。

[2]これらの事例を考えてみよう。イギリスの大規模なペイフォアパフォーマンスプログラムにおいて、ファミリードクターたちは高血圧症の治療ではほぼ満点（多額のボーナスもあわせて）受け取ったが、住民の調査では血圧およびおもな合併症である脳卒中の減少は見られなかった。一方、報酬をもたらさない質の面は、悪化していた。アメリカ最大のペイフォアパフォーマンス実験、メディケアズ・プレミアデモンストレーションもまた完全に失敗した。ボーナスを提供した 200 の病院は、他の病院よりも、患者の死亡率において若干の悪化を記録した。

[3] 支持者はこれらのようなプログラムは何らかの方法で欠陥があった、そして次の試行、また次のその次の試行で確かにもっとうまくいけようかと主張している。彼らはまた他の計画での成功を主張する。しかし、これらの主張のどれも厳正な科学に基づいていない、その後で厳正な試験を受けたすべてのプログラムは失敗してしまった。

[4]なぜ、これらのプログラムは常に達成できないのだろうか。医師たちが自分自身で作り出すデータに基づいて、医師にお金を支払った時点で、測定結果は歪められる。高得点は本当の卓越性に反映するかもしれないが、測定制度の選別や操作をすることにとっても簡単に反映することがありうる。私達が観察したボストン地区のある病院では、患者のカルテに書いた言葉を医師に変えさせるだけで40パーセント分、質に関する得点が悪くなった。メディケアは、これらの用語は同じ意味であるが、慢性閉塞性肺疾患憎悪の患者よりも、急性呼吸不全になった患者を救うほうが、病院により多くの評価を与えている。その種の行為は違法でもなく、珍しいことでもない。

[5]その上、第一に医師の業績を数値で表すことは非常に難しい。病院の死亡率は一見、医療の質の理想的な尺度のように思える。しかし、4つの広範に使用されている算出法は完全に異なる死亡率順位を作り出す。ひとつの算出法で極めて優れていると格付けされた病院は、別の算出法では完全に危険を伴っているようにみえる。意義を唱える支持者もいるように、たとえ私達がある医師のグループに有効である業績測定基準を見つけたとしても、すべての患者集団においてすべての医療提供者に有効であることはありえないだろう。さらに、多くの医療提供者は医療で相互に関わり合い、互いにそしてまた患者の結果にいろいろ複雑に影響を及ぼす。インセンティブ（報酬）がこの状況をひとつのシステムとして最大限に利用できるだろうと想像しがたい。

[6] 作用している心理的要因もまたある。業績に対して報酬を与えることは、人間の意欲の複雑なところ、とくに本来備わっている動機の役割を、それは本来備わっている報酬のための行為を行う欲求を、無視している。すばらしい食事を作ってくれたことに対しての晩餐会の主催者に10ドルの報酬を支払うと申し出ることは、将来、また招待しようという動機になりそうもない。研究では金銭的な報酬インセンティブがたびたび本来備わっている動機（やる気）を摘み取ってしまうことがあるとわかった。例えば、大学生は面白いパズルを自発的に行うが、一旦彼らがそれらを解くために報酬をもらったならば、彼らは何もなしに遊ぶことに関心を失う。イスラエルの保育所が、子供を遅く迎えに来ることに對し親に罰金を課したとき、遅延が増加してしまった。迅速に行動することは道徳的な義務から市場の取引へと変わってしまったのである。ペイフォアパフォーマンスは、よい診療の為に必要とされる心的態度、誰も見ていない時でさえも良い仕事をするという意欲、を台無しにする。さらに、それ（ペイフォアパフォーマンス）は、医師に、患者からコンピュータースクリーンに彼らの注意を移すようにさせている。患者のケアにとっては役に立たないが規定のコンプライアンス（順守）にとっては必要不可欠な詳細事項を記録しながら。

[7]誰も医療の重大な質の問題は疑うことができない。ひとつの対策として、ペイフォアパフォーマンスは貪欲性を操作することを示している。これは確実に医療を変えることができるが、私達が意図したように、ましてや願っているような方法で必ずしも変わるわけではないのである。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- intuitive appeal 「直感的な魅力」
- 第1段落第2文 Common sense and rigorous studies tell us that paying more for, say, angioplasties or immunizations yields more of them. say は「例えば」という意味である。them は angioplasties や immunizations などの治療件数を指している。
- common sense 「常識」
- rigorous 「厳正な」
- yield 「(結果などを) もたらす」
- unintended harm 「予想してもない害」
- exhaustive analysis 「底的な分析」
- unearth 「新事実などを明るみに出す」
- perfect score 「満点」
- hypertension 「高血圧」
- survey 「調査」
- stroke 「(脳卒中などの) 発作」
- deteriorate 「悪化する」
- proponent 「支持者」
- 第3段落第1文 Proponents argue that programs like these were flawed in one way or another, and that the next trial —or the one after—will certainly do better. 「支持者はこれらのようなプログラムは何らかの方法で欠陥があった、そして次の試行、また次のその次の試行で確かにもっとうまくいくだろうと主張している」省略されているの言葉を補って考える。the one after (the next trial)
- argue that 「～と主張する」
- flawed 「欠陥のある」
- in one way or another 「何らかの方法で」
- rest on 「基づいている」
- subsequently 「その後」
- fall short 「達しない」
- once 接続詞 「～した時点で」
- distort 「歪める」

- 第4段落第3文 One Boston-area hospital we observed improved its quality score 40% just by getting doctors to change the words they wrote in patients' charts. 「私達が観察したボストン地区のある病院では、患者のカルテに書いた言葉を医師に変えさせるだけで 40 パーセント分、質に関する得点が良くなった」主語は One Boston-area we observed である。get A to do 「A に～させる」、patients' charts 「患者のカルテ」という意味である。they は doctors を指している
- excellence 「卓越性」
- cherry-picking 「有利な選別」
- credit 「功績, 称賛, 名声」
- term 「用語」
- synonym 「同じ意味, 同義語」
- beyond that 「その上」
- in the first place 「第一に」
- quantify 「数値で表す」
- at first glance 「一見すると」
- algorithm 「計算方式」
- mortality 「死亡率」
- outstanding 「極めて優れた」
- rated 「格付けされた」
- work for 「有効である」
- 第5パラグラフ第4文 Even if—as some proponents argue—we find performance measures that work for one group of doctors, its unlikely that they'll work for all providers in all patient populations. 「意義を唱える支持者もいるように」as some proponents argue の部分が挿入されている。Its unlikely that 「～することはあまりないだろう」と意味である。they は performance measures 「業績測定基準」を指している。
- patient population 「患者集団」
- optimize 「最適化する, 最大限に利用する」
- at work 「(影響が) 作用して, 働いて」
- ignore 「無視する」
- human drive 「人間の意欲」
- intrinsic 「本来の, 本質的な」
- inherent 「本来の」
- motivate 「動機付ける」
- crowd out 「摘み取る」
- spontaneously 「一旦」

- impose a fine 「罰金を強いる」
- promptness 「機敏さ, 即時性」
- transform from A to B 「A から B に変わる」
- undermine 「台無しにする」
- trivial 「些細な」
- compliance 「応じること, 受け入れ」
- None can doubt 「疑いようがない」
- grave 「重要な」
- remedy 「対策」
- manipulate 「操作する」
- greed 「貪欲性」

(1) E

このパッセージのタイトルを選ぶ問題である。医師に対する業績に応じた報酬が妥当であるかどうか論じられている。

- A 「業務の改善にはチームワークを必要とする」
- B 「業績評価を作ることにおける初挑戦」 ○ performance measurement 「業績評価」
- C 「ペイフォアパフォーマンスとは何ですか」
- D 「財政的なインセンティブ（報酬）によって患者への結果を改善できる」 ○ patient outcomes 「患者が治療などの後どうなったかという結果」
- E 「医師の報酬は業績に関係するべきか」

(2) C

○ unearth 「～を掘り出す, あばく」という意味である。最も近いのは C の uncover である。reveal と近い意味である。○ elaborate 「念入りに作る」 ○ augment 「増加させる」 ○ abbreviate 「短縮する」 ○ overlook 「見渡す」

(3) B

「なぜ著者はイギリスとアメリカのペイフォアパフォーマンスのトライアル（試行）を述べているのか」

第1段落最終文では、ペイフォアパフォーマンスは治療結果の向上を生み出す証拠がないとわかったこと、第2段落ではさらにイギリスとアメリカの事例を提示して医療現場では質の悪化が見られたことについて述べている。

- A 「料金制サービスから新しい支払い方法への移り変わりを示すため」 ○ fee-for-service 「診療ごとの個別支払いサービス」
- B 「報奨金の制度が医療の現場では機能しないことを実例で示すため」 ○ healthcare setting

「医療現場」

C「それぞれの試行には、簡単に修正できる計画の欠陥があるということを指摘するため」

○correctable「修正可能な」、○flaw「欠陥」

D「健康管理の効率を評価に適切であると思われる測定基準の欠如を注意する為」○metric
「測定基準」、○assessment「評価」、○efficiency of healthcare「健康管理の効率」

E「ペイフォアパフォーマンスは不必要な治療を提供するためのインセンティブを作っていることを明らかにする為」○reveal「明らかにする」

(4) D

「著者によれば～のために、ペイフォアパフォーマンスプログラムが成功しない」成功しない理由は、第4段落第2・3文、第5段落第1～3文に述べられている。

A「医者たちの間に、効率に焦点を当てることは実際、唯一の焦点になるであろうという大きな懸念がある」

B「医者たちは患者の治療の手順に関してどのように上手に対応しているか採点される」○grade「採点する、成績をつける」、○comply with「～に応じる」

C「患者の健康と医者への満足感に関して予想もしなかった結果になるかもしれない」○unintended consequences「予想もしていなかった結果」

D「医師の業績を判断するための適切な基準を考え出すことが困難である」○come up with「考え出す」

E「死のような健康の結果がすべての業績の中で最も簡単にはっきり測定される指標である」

(5) A

「第6段落で『作用している心理的要因もまたある』と述べることによって著者は～であると主張している」

第6段落では、金銭的動機が強くなると、本来備わっている動機が消えていくことが述べられている

A「ペイフォアパフォーマンスは医療における動機を損なう可能性がある」○undermine「損なう」

B「ペイフォアパフォーマンスは不必要な検査をしたり必要としていない人々を入院させたりする動機を取り除く」○unnecessary test「不必要な検査」、○hospitalize「入院させる」

C「業績不振は財政難の結果である」○financial distress「財政難」

D「医者たちが行うそれぞれのサービスに対して支払われるべきである」

E「ペイフォアパフォーマンスのアイデアは、それ自体がもっと効果的であると証明できない」

(6) B

「第7段落において、貪欲性を操作することとは～のことを言っている」

医療への動機をペイフォアパフォーマンス（金銭的報酬を与えること）によって操作しようとするのがテキストの第7段落では述べられている。

A「そのシステムを操作するために医者たちのインセンティブを取り除く」○game「操作する」

B「より高い給料をもらってよりよい業績を誘発すること」○induce「仕向ける、誘発する」

C「医者たちの業績を分析するために厳正な測定基準を作ること」

D「それ自体、仕事を行うことの本来備わっている報酬をもっと強化すること」○for its own sake「それ自体は」、○strengthen「強化する」

E「健康をより良くする為に協力する」

(7) 治療数の多さだけでなく、より良い治療に対して医師にお金を支払うことは、当たり前のように思える。

better care「より（質の）良い治療」、more of it「治療のもっと多い数」のことを言っている。○no-brainer「ほとんど思考を要しないもの、朝飯前、とても簡単すぎる」

(8) B

its main complication, strokes「その主な合併症、脳卒中」という意味である。下線を含む文には、ファミリードクターは高血圧症の治療でほぼ満点をとったが、住民調査では血圧とその合併症でもある脳卒中の減少は見られなかったと述べられている。

A「イギリスの大規模ペイフォアパフォーマンスプログラムの主な合併症」

B「高血圧症の主な合併症」

C「高血圧症治療の合併症」

D「血圧における低下の合併症」

E「血圧の合併症」

(9) E

much less は否定文に続いて「まして～ない」という意味になる。下線を含む文において but 以降、かなり省略されているが、本来 but can not necessarily change medicine in the ways we would plan「しかし私たちが計画するだろうやり方で必ずしも医療を変えることはできない」という文に続いて much less in the ways we would hope for.「ましてや私たちが望んだやり方で、できない」という文になっている。

<出題された単語・熟語・文法>

- tuition 「授業, 教授」
- precise 「正確な, 緻密な」
- per week 「一週間で」
- appreciate 「感謝する」
- stay up late 「遅くまで起きている」
- available 「大丈夫, 空いている」
- convenient 「便利な」
- favorable 「好ましい, 好意的な」
- timely 「ちょうど間に合った」
- suitable 「適した, 都合のよい」
- Scout 「偵察機」
- heart failure 「心不全」
- exploit 「開発する, 搾取する」
- that is (to say) 「すなわち」
- simply put 「簡単に言うと」
- the primordial soup 「原始スープ」
- stir 「動き出す」
- molecule 「分子」
- prime numbers 「素数」
- digit 「数, 桁」
- divide 「割り算をする, 割り切れる」
- challenging 「深く考えさせられる, やりがいのある」
- adverse 「反対の, 不運な」
- outcome 「結果, 成果」
- attitude 「考え方, 態度」
- practice 「行為」
- informed consent 「告知に基づく同意」
- diagnosis 「診断」
- truthfulness 「真実性」
- withhold 「与えないでおく, 抑える」
- wholly 「まったく, 完全に」
- uncommon 「珍しい, まれな」
- depression 「絶望」
- setting 「背景, 環境」
- suicide 「自殺行為」
- break the news 「情報を知らせる, 公表する」
- manner 「方法」
- inadequate 「不十分な」
- frustration 「落胆, 失望, フラストレーション」
- enormously 「非常に」
- for instance 「例えば」
- outline 「概要を述べる」
- acronym 「頭文字」
- address 「話しかける, 処理する」
- strategy 「計画, 戦略」
- perception 「感じ方, 認識」
- summary 「要約」
- well-being 「幸福な状態, 健康的な状態」
- inherent 「本来備わっている」
- deliver 「言い渡す」
- go beyond 「～に勝る, ～をしのぐ, ～以上のことをする」
- entail 「必要とする」
- rigorous 「厳正な」
- yield 「(結果などを) もたらす」
- unintended harm 「予想してもない害」
- exhaustive analysis 「底的な分析」
- unearth 「新事実などを明るみに出す」
- perfect score 「満点」
- hypertension 「高血圧」
- survey 「調査」
- stroke 「(脳卒中などの) 発作」

- deteriorate 「悪化する」
- proponent 「支持者」
- excellence 「卓越性」
- cherry-picking 「有利な選別」
- credit 「功績, 称賛, 名声」
- term 「用語」
- synonym 「同じ意味, 同義語」
- beyond that 「その上」
- in the first place 「第一に」
- quantify 「数値で表す」
- at first glance 「一見すると」
- algorithm 「計算方式」
- mortality 「死亡率」
- outstanding 「極めて優れた」
- rated 「格付けされた」
- work for 「有効である」
- patient population 「患者集団」
- optimize 「最適化する, 最大限に利用する」
- at work 「(影響が) 作用して, 働いて」
- ignore 「無視する」
- human drive 「人間の意欲」
- intrinsic 「本来の, 本質的な」
- inherent 「本来の」
- motivate 「動機付ける」
- crowd out 「摘み取る」
- spontaneously 「一旦」
- impose a fine 「罰金を強いる」
- promptness 「機敏さ, 即時性」
- transform from A to B 「A から B に変わる」
- undermine 「台無しにする」
- trivial 「些細な」
- detail 「詳細」
- compliance 「応じること, 受け入れ」
- None can doubt 「疑いようがない」
- grave 「重要な」
- remedy 「対策」
- greed 「貪欲性」
- for its own sake 「それ自体は」
- strengthen 「強化する」